

## みるくとわたし

三年 大高楓佳

みるくは、おじいちゃんおばあちゃんの家でかっている、十二才のおばあちゃん犬です。ポメラニアとパピヨンのミックスで、茶色くてふわふわしています。さわると、とても気持ちがいいです。耳の先の毛だけ黒色で、とてもかわいいです。あまりほえない、おだやかな子です。

わたしが遊びに行くと、しっぽを大きくふって、大よろこびで出むかえてくれます。いつもおさんぽへ行ったり、公園や海や山などいろいろなところへお出かけします。とまる日は、わたしの横でいっしょにねます。朝はほっぺをペロつとなめてわたしをおこします。みるくとわたしは、とてもなかよしです。

でも大きなみるくは、今びよう気です。口の中と、はいにガンができました。体調の悪い日もあって、そんな時は、ごはんも食べられずに、おとなしくずっとねています。元気がないのでとても心ばいになります。おばあちゃんが、

「みるくは、今年の冬まで生きれないの。」と言いました。死ぬなんて、一ども考えたことがないので、しんじられないです。みるくがいたい思いもしてほしくないし、とてもつらいです。いつもいっしょに遊びたいです。人間みたいに長く生きられればいいのに。なみだが出てきてしまいます。

動物びよういんにもいっしょについて行ったこともあります。体調が悪いので、ちゅうしゃをうってもらうところも近くで見ました。ふるえてこわがっていたので、かわいそうでした。みるくはとつてもがんばりやさんです。

これからも、みるくにたくさん会いに行きたいです。みるくがみんなにかわいがられて毎日しあわせいっぱいだとうれしいです。

いのちはとても大切だと思います。人間も動物も、ずっと元気ではいられないし、いつか死んでしまうからです。今みるくががんばって生きているから、わたしも学校や習いごとがんばって、にがてなことにもチャレンジします。これからも、みるくや家族や友だちにも、やさしくせつしたいです。いのちを大切にすごします。